



正子とみんなでつくる 県政報告 VOL.19

# 一生懸命だよ



「世界に飛翔け！長野県カーリングチーム」  
オリンピック出場を祈念して 軽井沢にて（5月24日）

高校再編

## 白田高校・岩村田高校工業科と共に 北佐久農業高校に新たに「総合技術高校」を！

これからの学校、みんなで考え 声や意見を出そう

これは昨年「佐久市内の高校5校を4校に」を受けて県教育委員会が発足させた「佐久地域の中等教育を考える会（新津真澄会長はじめ該当5校プラス望月高校の校長、PTA会長、同窓会長、後半から中学校の校長代表と連合PTA会長、北佐久・小諸地区の高校長も参加）」の3月答申である。「5校を4校に」の中で、普通科でなく職業科を中心という県の方針もあったが、普通科も含め各学校の内容、方針を出し合い議論していた。

同時に企業と職業高校の校長代表で「長野県産業教育審議会」をつくり、そこで「総合技術高校」的な意見もあり、北佐久農業高校から農業・工業・食品も合わせ、環境に注目した「エコロジカルハイスクール案」も出される中、最終的には上記の決定に至った。職業科の統合が決定されつつある中で、全体会では普通科を存続したいとする白田高校と野沢南高校普通科の連携（統合）案も進んだが、これは該当校のみの話し合いという形の中で消えた経過もある。途中、中高一貫教育も視野に入れ、「東信第一の進学校に」と夢を語る岩村田高校、同様に中高一貫を唱える野沢北高校の両同窓会の意見もあった。

一方、発言を許可された佐久市PTA連合会や先生方の組合からは「伝統ある3校（北農の畜産科はかつて獣医師も輩出し、現在農業高校として三科一体で充実している。岩校の工業科は国公立の推薦や、資格取得も多く、クラブ活動も活発であり、卒業後は企業で活躍している。東信唯一の林業科系がある白田校は農業・家庭科系を併せ持ち、かつて看護科では地元で多くの看護師を輩出していた）を1校にするのではなく、それぞれの特色を活かし、連携することができるのではないか。高校を減らす議論のみでなく子供達一人ひとりが大切にされるよう、先進県のように一学級の定員を少なくしたり、中学生が行きたくなるようなクラブや中身の充実を議論したらどうか」との声もありました。

ただし  
白田高校の  
校地も活用！



白田高校



岩村田高校



北佐久農業高校

